

企業名：日立物流

1. この会社が目指す姿が理解できるか

- ・先端技術を生かし、国内外で高品質な物流サービスを提供すること
- ・生産、消費を問わず国内外の物流に総合的に関与することで社会インフラとしての役割を果たす

2. この会社の競争優位性が理解できるか

- ・生産、調達、販売といった、国内における物流に総合的に関与している
- ・航空輸送、海上輸送など国際輸送にも関与している
- ・先端技術を扱える人材を育成するなど、知的財産を重要視している
- ・従業員への言語教育、リモート技術の活用などにより世界中で活動できる人材の育成を目指している
- ・多数の国と地域にまたがる国際的な物流網を有している
- ・製造業の領域にも進出を進めている

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

- ・先端分野における人材育成は将来的な成長にもつながるものであり持続的といえる
- ・国際的、総合的な物流網は、一度構築に成功すれば他社には追随困難であるため持続的といえる
- ・新型コロナの流行で物流に混乱が生じたが、医療物資の輸送、感染対策の徹底、ネット会議などを通じてビジネスチャンスに変えるなど不測の事態への対処能力も見せており、会社の事業の持続性を示しているといえる

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

- ・社内の人材育成に注力しており、他社においても役立つ能力を培うことができると考えられる
- ・総合的に事業を展開しているため、様々な分野における経験を積むことができるかもしれない

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

- ・無意味に外来語、英語が濫用されているために内容が頭に入りにくい。スライド製作担当者の語学力は投資家にアピールすべき会社の強みではない。